



アパレル散歩道 ティータイム特別企画



大阪・関西万博 2025 訪問記 その3!

BY 清嶋 展弘

6月中旬、「大阪・関西万博 2025」第4回目、第5回目の見学に行きました。第4回目は、梅雨による大雨で、傘とレインコートを持参してのパビリオン見学となりましたが、第5回目は30℃を超える猛暑で、熱中症対策を考慮しながらの見学となりました。今回も筆者が訪問したパビリオンをいくつかを紹介します。(写真も筆者撮影)

■ドイツ

東ゲート近くにパビリオンはあります。ヨーロッパの中でも環境対策が進んでいる大国ドイツらしい「環境経済(サーキュラーエコノミー)」がテーマの展示でした。循環型社会(エネルギー、住居、衣料、食品など)のあるべき姿を提案していました。事前予約はなく、自由入館制です。



パビリオン入口



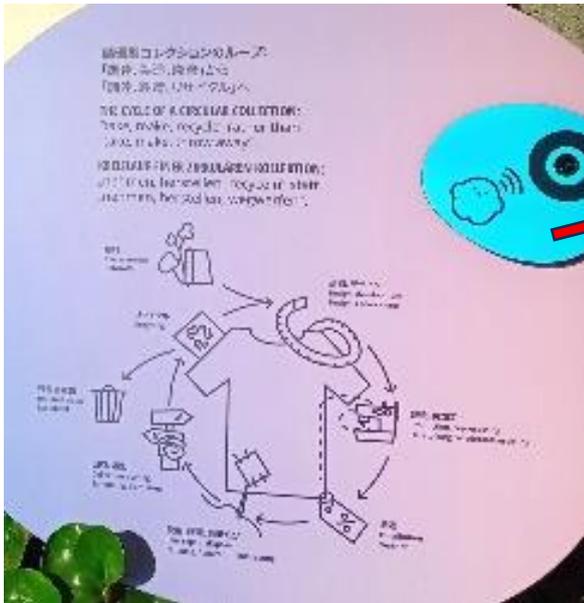
展示の一部



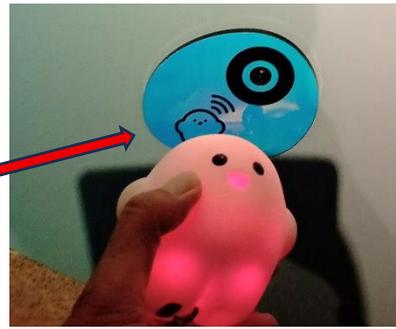
魚・トマト・昆虫の食物リサイクルの提案展示



ドイツ館に隣接した庭園にて



循環型ファッション衣料の提案展示



全員に配られた「マスコット/妖精サーキュラー」。ブルーパネルに当てると、そのパネルに関する説明情報がインストールされ、マスコットの口を自分の耳に当てると、説明音声流れます。

■アゼルバイジャン

アゼルバイジャンは黒海に面した国で、同国パビリオンは、伝統と革新を融合させた展示がされていました。ニガミ・ガンジャヴィの「七人の美女」に導かれた旅が体験でき、同国の歴史などの感覚体験や伝統的デザインを現在と融合させることで、「命をつなぐ」というサブテーマを具体化していました。



パビリオン外観



七人の美女像(木製か?)



民族衣装



現在の衣料品



文化的多様性の展示の一部

■モナコ公国

モナコはイタリアの隣国で地中海に面し、面積は約 2km² とバチカンに次いで世界で 2 番目に小さい国です。F1 モナコグランプリが有名です。モナコパビリオンでは「Take Care of Wonder」をテーマとして掲げ、環境問題への意識を高める展示をされて、特に海洋汚染を意識した展示が多かったように思いました。館内にはリッチなひと時を過ごせるワインバーもありました。



パビリオン外観



展示の一部



■タイ

タイパビリオンは、「微笑み/スマイル」をテーマに展示が構成されていました。パビリオンの外観は、「天使の家」を意味して、同国の自然、生活、医学、料理、文化を紹介しています。



パビリオン外観



スクリーン展示



タイの食材展示の一部



歴史あるタイシルク製品(タイでは昔から伝統的民族衣装用として養蚕が行われてきました)

■韓国

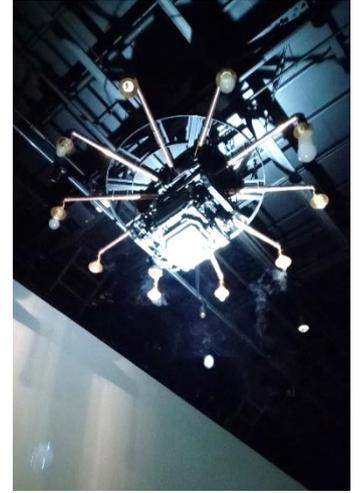
韓国パビリオンのコンセプトは、「心ひとつに/With Hearts」です。迫力のある大型スクリーンで、環境技術による自然の回復や未来の世界が紹介されていました。



パビリオン外観(大画面スクリーン)
伝統布「韓山モン」製



パビリオン内のパフォーマンス



展示の一部



伝統的テキスタイルデザイン

■三菱未来館

同パビリオンでは、「いのち輝く地球を未来に繋ぐ」をテーマにして、超大型局面 LED スクリーンで、生命の起源と進化、宇宙への進出などが紹介されていました。機会があればぜひご来場ください。

また、三菱グループ 30 社の未来への取り組みも紹介されていました。事前予約、当日登録もあります。



パビリオン外観

■氷のクールスポット／ダイキン

昼間に太陽光発電パネルで発電した電気を蓄電池に貯め、夜間に小売り蓄熱ユニット内に氷を作り、翌日氷の融ける熱で、部屋を涼しくしています。酷暑の会場内にあっては、非常に快適なオアシスでした。



■番外編／休憩用のイス

会場の休憩用のイスで、パーティカルボード成型の椅子がありました。粉碎した木片や藁などと樹脂を混ぜて成型したものと思われます。間伐材や藁くずなどの有効利用として望ましい利用方法と思われます。しかし、廃棄する時は、樹脂のタイプもあり、どのような廃棄処理をされるのかが気になりました…。



パーティカルボード成型の椅子



拡大写真

アパレル散歩道 バックナンバーと索引は[こちら](#)からご覧になれます！

【発行】一般財団法人ニッセンケン品質評価センター 事業推進室 マーケティンググループ

E-mail : pr-contact@nissenken.or.jp URL : <https://nissenken.or.jp>

※当コラムの内容、テキスト等の無断転載・無断使用を固く禁じます